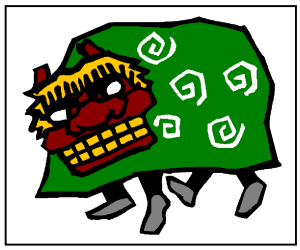
めじろむつみクラブ（MMC）会報

［第25号］　2013年（平成25年）1月1日発行

新年特別号

特定非営利活動法人（ＮＰＯ）
めじろむつみクラブ（ＭＭＣ）事務局
住所：八王子市めじろ台２－３７－１２
ｔｅｌ：０８０－１０３８－６８７５
http:／／www.hachioji－mmc.com／



新年明けましておめでとうございます。

年頭に当たり皆様のご多幸を心からお祈り申しあげます。
NPO法人めじろむつみクラブ（MMC）はお蔭様で 11 年目を迎えて、皆様との強い絆を深めて参りました。

さて、私事ながらこの度は計らずも内閣府の提唱するエイジレスライフ実践の範として、全国から数少ない一人に推挙され、内閣府から「エイジレス章」の賞状と記念の楯を石森八王子市長から伝達されました。大変光栄の至りであります。

これは地域の皆様の私へ支えがあってこそのことです。そして私の健康と併せ皆様と祖先に感謝の心で一杯であります。改めて原点に戻り、これからも一層の微力を尽くす所存であります。
どうぞ皆様のためのめじろむつみクラブに温かいお力添えをお願い申しあげます。　　（理事長　髙橋光男）

1. H24年度作業の状況（12 月 31 日現在）

(1) 生活支援他有償事業

4 月 1 日からの作業件数は 115 件、金額面では年間受注予定額 3,650,000 円の 94％です。
内容としては、雨どいの補修、木製ﾍﾞﾗﾝﾀﾞ補修、不用材処分、ﾍﾞﾗﾝﾀﾞ人工芝張り、ﾌｪﾝｽ、屋根塗装、雨戸調整、網戸張替え、ｷｯﾁﾝ清掃、蛇口水漏れ補修、竹柵交換、植木消毒、論文ﾜｰﾌﾟﾛ打ち、植木水遣り、生垣の植替え、電球交換他、植木剪定、除草以外に数多くの家屋内外の作業をさせてもらいました。
また、町会を通して空地の草刈処分、二丁目町会からは防災倉庫の設置、会館の植木剪定、樹木の撤去、除草処分も依頼されました。
軽トラックもめじろ台祭り、防災訓練資材運搬等で活躍しました。
自主作業ですが、資材置き場の農園隣に医院が新築されたので見苦しくないよう資材置き場を移転しました。
今後も皆様の色々な要望に応えられるよう頑張りますので、是非事務局にご一報下さい。

K邸ベランダ補修作業

T邸ペンキ塗り前のさび落とし作業

空き地の草刈り作業

農園資材置場移転

2. MMCオータムコンサート2012　開催

日時 ： 平成24年10月28日（日）　開場13:00　開演:13:30～15:05
場所 ： めじろ台第一会館
入場料 ： 500円
当日は小雨模様の、肌寒い天候で、入場者がどれくらいになるのか心配していましたが、会場ほぼいっぱいの90名弱の皆さんが集まり、盛況裡に終わりました。
今年はヴィオラとピアノのデュオコンサート。ヴィオラ奏者はめじろ台二丁目在住の東京芸大出身・村上信晴さん。現在町会総務部部員として活躍中。今夏のめじろ台祭りの打ち合わせの席で、村上さんを知り、出演をお願いしたものです。
ピアノ奏者の増田理恵さんは、浦和市在住の方で、村上さんとお二方で「デュオ・フリーデン」を結成、活動している。「フリーデン」は、「平安」を意味するドイツ語。「生あるもの、天国に召されたものいずれにも神様の豊かな恵みと無限の愛を。平安がありますように」を演奏のベースにしている。

ヴィオラとヴァイオリンとの違いの説明なども入れ、途中約10分間の休憩をはさんで全19曲。
19世紀後半のイギリスの作曲家エルガーの「愛のあいさつ」から始まり、「ハンガリー舞曲」（ブラームス）、「トロイメライ」（シューマン）、「もみじ」「朧月夜」（岡野貞一）、「この道」（山田耕作）、アメリカ民謡「アメイジング・グレイス」などアンコール曲3曲を含め、親しみやすいクラシック、文部省唱歌などの熱演。入場者が曲を口ずさんだりもし、和やかな雰囲気の中、成功裏に終わりました。

（講座開催事業担当）

3. 第8回趣味の作品展を開催

衆議院の解散といちょう祭り、さらに初日は冷たい秋雨、恨めしく空を見上げる。やはり例年より出足は少し鈍い、しかし会場の中では鑑賞者の方が作者に技術的な質問や「逸話ばなし」など笑いや感嘆の声、毎回繰り広げられる光景だ。作品一つ一つが放つ魅力に鑑賞者の熱い視線が注がれより一層作品が輝く、出展数、作品のレベル、来場者数、開催をサポートする会員数等、一団体が開催する作品展としては八王子市でもかなり評価されているようです。
今後も地域に密着した作品展として継続して行けるよう取り組むと共に、会員の皆様からのご意見もお待ちしております。ご支援ご協力いただいた皆様に心より感謝申し上げます。

☆　概要と結果

・開催日時 ： 11 月 17 日（土）　午前 9 時～午後 5 時
　　11 月 18 日（日）　午前 9 時～午後 3 時
・会　場　 ： めじろ台第一会館
・展示品　 ： 絵画、書、写真、造形粘土、折り紙、生け花、押絵、和紙ちぎり絵、木彫り仏像、俳句、押し花、編み物、フランス刺繍、はり絵、人形、盆栽、めくり絵、小物、など

•出展者 ： 64 名　　•出展数 ： 184 点
•来場者 ： 296 名（めじろ台　239 名　その他　57 名）

今年は出展常連の方で体調を崩され、作成に携われなかった方が何人もいらっしゃり、高齢者社会の現状を目の当たりにした感がありました。
そんな中「めじろディホーム」の利用者様初め、新たな出展者の方々の作品が彩りを添え、鑑賞者を楽しませて頂きました。
めじろ台および近隣の皆様と地域交流を深め、芸術の秋を堪能しました。　　（地域交流事業担当）

4,「MMC2012めじろ寄席」を開催

日時 ： 12月16日（日）　13:00～
会場 ： ライオンズマンション集会室
木戸銭 ： 300円
会場は、今回の選挙のため めじろ台第一会館から急遽、ライオンズマンションに変更したもの。
出演者はいずれも中央大学落語研究会の4人。
①摩周麻呂　　演目「猫の皿」
②なりてぇ公務員　　「真田小僧」
③あたり家大穴（だいあな）　　「たらちね」
④あたり家駄B（女性）　　「悋気の独楽」
以上の4演目のほかに時間もあるとのことで、あたり家大穴さんがアンコール噺を披露。
落語のアンコールは珍しい！

① 摩周麻呂　「猫の皿」:
古美術商が旅先の途中で立ち寄った茶店で、亭主をだましてある皿を買いたたこうとするが亭主の方が一枚上手だったという噺。

②なりてぇ公務員　「真田小僧」:
ああ言えばこう言うで、親をへこましてばかりいる子供（金坊）。きょうもおとっつあんに小遣いをせびり、ダメだと言われるとおとっつあんの留守に、白い背広を着てステッキを持った粋なお兄さんが家に上がりこんでおっかさんと••••。親父さんは気になり話が途切れるたびに、もう一銭、もう一銭と取られる。ついに六銭も。末恐ろしいガキだと嘆く。
そこに女房が帰ってきて話を聞きたいと。なら銭をくれ！

③あたり家大穴　　「たらちね」:
長屋の八っさん（八五郎）が大家の仲立ちでていねいな言葉使いの嫁さんをもらう。そのやりとり噺。

④あたり家駄B　　「悋気の独楽」:
上方落語の演目の一つ、今の文枝の前の桂文枝の得意な演目の一つ。
悋気はやきもちを焼く心。旦那が家に帰ってこないので本妻が奉公人に尋ねるが的はずれな返事ばかり。問い詰められて、旦那は独楽を三つ持っていると。
それぞれ旦那、本妻、お妾とし、廻して旦那の独楽が当たった方に泊まると吐く。何度やってもどうしてもお妾の独楽に当たってしまう。

今回は選挙の投票の帰りにご来場をとチラシに書きましたが、思ったより多く、42名の入場者でした。
（講座開催事業担当）

5. 東京大学•佐藤教授の•プロジェクトについて

(1) 東京大学•情報理工学系研究科知能機械情報工学専攻の佐藤知正教授はロボットの世界ではわが国でも有数な先生で、現在八王子市を中心に以下のプロジェクト展開に取り組んでいる。既に市長はじめ関連する商工会議所などにも趣旨説明を行っており、賛意を示している企業などの助成も受けている模様。

本プロジェクトについては、私の知己でもある当時の東京都産業局商工部創業支援課・鈴木係長（八王子市から出向。現在は出向から戻って市職員）を通じ、昨年７月、 MMC に対して、協力要請に接した。

＜プロジェクトの概要＞

健康、介護、社会参加など高齢者（ケアの必要な人）がシームレスなサービスを受けられるような地域主体のネットワークを実現しようというもの。それには家族、ケアをする人、地域のメーカー、研究所、病院などの協力を得る。こうして確立されネットワークを拡大家族と称する。これからはこの拡大家族が家族の役割を果たすことになるとの前提。

ケアが必要な人のシームレスなサービスの社会実験データを積み上げながら、総合的な分析、研究を通じ、それを支えるソーシャルテクノロジーの産業創生に結びつけようというもの。

(2) 以上のプロジェクトの中で、防災、健康•介護サービスといったサービスパッケージの社会実験データ積み上げの協力者として、MMC 事務局•佐藤正一さん、私（坂元芳彦）が手を挙げた。

8月3日、佐藤教授と㈱立山システム研究所（本社:富山県）•池谷薫さんと面談、緊急通報、相談通報などのサービス機能を持つセンサー設置の具体的な説明を受けた。

同社は、全国で2万件の同装置利用者を有し、コールセンターでの対応などもきめ細かく行われている。また大阪瓦斯の自動検知システムなども手掛けている。

(3) なお、同日、佐藤教授から本プロジェクトの関連した以下の取り組みについても説明があった。

1) 同プロジェクトの推進メンバーの一人でもある西田佳史さん（独立行政法人産業技術総合研究所）の「リハビリテーションサイクルを支援する社会参加型生活総合サービス科学の基盤開発」レポート。市内のK病院と連携し実施していくもの。

2) 高齢者が参加し、近隣住民の生活を支える参加型サービスに取り組んでいる事例として、東大４年生・進木さん、同大院生・満行さんなどがまとめたＭＭＣについてのレポート。

（４） ＭＭＣとしての今後の取り組み：

１） 社会実験データの積み上げに協力。協力過程で情報化社会におけるＭＭＣの新たな事業展開を確認し、実現を目指す。

２） ＭＭＣの高齢者向け社会参加型サービスについては、佐藤教授を含め、上述産業技術総合研究所・西田さんも注目しており、現在事務局で作成している作業日程表のシステム化など、実現可能な協力申し出もあり、引き続き協力をしながら当方のメリットを探る。

（地域交流事業担当）

6. 新会員の紹介

•8 月 21 日以来 12 月 31 日現在、西川扶美子、鳥羽静江、竹谷千晴、石川鉄雄、渡辺貞彦、榎本千鶴子、滝澤幸夫さんが入会され、総会員数は 170 名になりました。

7. 事務局便り

•平成 25 年 2 月 2 日 労政会館で 13 時より「八王子市お父さんお帰りなさいパーティー」が開催されます。

これは定年等で退職される方々が第 2 の人生を地域で活動してもらうようにPRするもので、MMCも出展して会員募集を行います。

是非お越し下さい。詳しくは事務局にお問合せ下さい。